

1 題材名 曲の感じが大変身

2 題材の目標

- 曲想の変化に注目して鑑賞したり、音楽を形づくっている要素（音色、速度、強弱、旋律など）と曲想とのかかわりに着目して表現を工夫したりする活動を通して、主体的に音楽と向き合い思考・判断しながら表現をつくりあげる。

3 主な〔共通事項〕 旋律、音の重なり、変化

4 題材の設定意図

本題材は、小学校学習指導要領のA表現（2）イ、エ、B鑑賞（1）ア、イの内容を踏まえ、〔共通事項〕を窓口にして、自分たちの目指すイメージに合うように音楽を形づくっている要素を工夫し、表現をつくりあげていくことをねらいとしている。

これまでに子どもたちは、様々な音楽活動を通して、音楽を形づくっている要素を聴き取り、豊かにイメージを膨らませていくことができるようになった。しかし、表現領域の活動において、知覚・感受したことを基に、自分が表現したいイメージをもち、それに合うように音楽を形づくっている要素を工夫することについては十分ではない。

本題材の指導にあたっては、第1次で「ハッピーバースデイ変奏曲」「パーセルの主題による変奏曲」の鑑賞を行い、同じ旋律でも音楽を形づくっている要素が変化すれば、曲想も変化していくことに気付けるようにする。そして、同じ旋律でも要素が変わることで曲想が変わることを「変身」と名付け、子ども達の中に定着していけるようにする。第2次では、鑑賞の活動で見つけた音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを基に、実際に「メリーさんの羊」の曲想を変化させてみる活動を行い、より実感を伴って音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりについて理解できるようにする。「リボンの踊り」の器楽合奏では、自分たちの表現したい踊りをイメージし、それに合うように楽器の組み合わせや重ね方、旋律や強弱などを工夫していく活動を行う。それによって、知覚・感受した音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを基にしながら、どのように音楽を形づくっている要素を工夫していけばイメージに合うのか、思考・判断しながら表現をつくりあげていく姿に迫っていきたい。

5 教材について

- ・「ハッピーバースデイ変奏曲」 ハイドリッヒ作曲
- ・「パーセルの主題による変奏曲」 ブリテン作曲      ・「メリーさんの羊」      アメリカ民謡
- ・「リボンの踊り」      メキシコ民謡 / 原 由多加 編曲

6 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
①変奏曲の曲想の変化と音楽を形づくっている	①音楽を形づくっている要素を聴き取り、それら	①曲想を生かした表現で合奏してい	①変奏曲の音楽を形づくっている要素

<p>要素とのかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②音楽を形づくっている要素を工夫し、曲想を生かして合奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>の働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、どのような合奏にするかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>る。</p>	<p>を聴き取り、それらの働きによる曲想の変化を感じ取り、言葉で説明するなど、そのよさや美しさを味わって聴いている。</p>
---	---	-----------	--

7 学習活動と評価の計画（5時間扱い）

次	ねらい	主な学習活動	〔共通事項〕	題材の評価規準
第1次 (1)	○曲想の変化が、音楽を形づくっている要素から生まれていることに気付く。	<p>④「ハッピーバースデー変奏曲」「パーセルの主題による変奏曲」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想が移り変わる面白さを感じ取る。</li> <li>・曲想の違いがどこから生まれているのか、旋律に注目して考える。</li> <li>・感じ取った特徴を言葉で紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・変化</li> </ul>	<p>アー① エー①</p>
第2次 (4) 本時は 第3時	○音楽を形づくっている要素を変化させると、曲想を変えられることを理解する。	<p>④「メリーさんの羊」「リボンの踊り」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「メリーさんの羊」をいろいろな曲想に変化させる。</li> <li>・何を変化させたのか、音楽を形づくっている要素に注目して整理する。</li> <li>・「リボンの踊り」の範奏を聴き、特徴を聴き取り、その曲想を感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律</li> <li>・音色</li> <li>・強弱</li> <li>・音の重なり</li> </ul>	アー②
	○表現したいイメージをグループで共有する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、どんな「リボンの踊り」にしたいのか話し合う。</li> <li>・話し合ったイメージを拡大譜にまとめ、各パートの楽器を分担する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化</li> <li>・構成</li> </ul>	イー①
	○音楽を形づくっている要素を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したいイメージに近づけるように楽器の組み合わせや、音の重なり、旋律の特徴などを工夫する。</li> </ul>		イー①
	○音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループのポイントを参考にしながら、曲を完成させる。</li> <li>・グループごとにポイントを伝えて、曲を演奏発表する。</li> <li>・音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりについて、各グループの演奏をもとに話し合う。</li> </ul>		イー① ウー①

8 本時の学習（第2次，第3時）

(1) 目標

自分たちが表したい踊りのイメージに合うように，音楽を形づくっている要素（速度・強弱・旋律）を工夫する活動を通して，思いや意図をもって表現をつくる。

(2) 準備・資料

児童：教科書，担当する楽器

指導者：拡大譜，マーカー，タブレット端末，Bluetoothスピーカー，電子黒板

(3) 学習の展開

学習内容と主な学習活動	教師の働きかけ（◆評価規準）
<p>1 前時を振り返り，本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構成が決まったよ</li> <li>・もっとイメージに合う演奏にしていきたいな</li> <li>・いろいろな要素を工夫してみたらどうかな</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">－「リボンのおどり」を変身！－</p> <p style="text-align: center;">自分たちの踊りのイメージに近づけるには，何をどのように変えればよいのかな。</p> </div> <p>2 音楽を形づくっている要素に着目して，イメージに合う曲になるよう工夫する。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>●基本ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返しをする中で3つの部分に分かれたストーリーになるように変身させる</li> <li>・ストーリーはつくりながら深めていくので，今は大枠のみでよい</li> <li>・8人のグループを4つ作り，それぞれ7パートを分ける</li> <li>・リコーダーのパートのみ，2名で演奏する（音量バランスを配慮して）</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい踊りにするためには，メロディーをスタッカートにして弾ませてみよう</li> <li>・音を伸ばして演奏したら重々しい感じがよく表せたね</li> <li>・だんだん強くして，急に弱くすると，ドキッとすよ</li> <li>・雨があがったイメージにするには強弱を弱めたらどうかな</li> <li>・速度を速くすると，事件が起きている感じが増すね</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を振り返り，強弱・速度・旋律などの音楽を形づくっている要素の働きを思い出すことで，本時の課題解決への見通しがもてるようにする。</li> <li>・自分たちの表したいイメージに合っているのか常に問いかけて活動するよう確認することで，本時の目標に迫っていく。</li> <li>・まずは「メリーさんの羊」で使った音楽を形づくっている要素のリストアップを基に考えていくようにし，徐々にそれ以外の要素にも目を向けていくようにすることで，前時までの学びとの連続性を意識させる。</li> <li>・教師の演奏や電子黒板を活用して，実際に音に出してアレンジのポイントを確認していくことで，それぞれの工夫の効果を音で実感していけるようにする。</li> <li>・拡大ボードに，表したい踊りのイメージを明記することで，視覚的にみんなで共有できるようにする。ただし，そのイメージは，活動を進めていく中でどんどん書き直してよいものとし，実際の音で確かめながらイメージを練り上げていく姿を価値付けていく。</li> <li>・どのような踊りにするのか，そのためにはどの要素をどう工夫するのかを，ボードに整理するよう促し，共通イメージをもって対話的に表現をつくりあげられるようにする。</li> <li>・タブレット端末を用いて，自分たちの演奏を録音し，後から客観的に演奏を聴くことができるようにすることで，自分たちの演奏が表現したいイメージに本当に合っているのか，実際の演奏をもとに話し合えるようにする。</li> <li>・どう工夫すればよいか分からないグループに対</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中間部はもっとゆっくり演奏したほうが、寂しいイメージに合うよ</li> </ul> <p>3    どんなことに着目して工夫したのか，紹介し合い，本時のまとめとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 強弱を強くすると，荒々しい感じになったね</li> <li>• ゆったりと落ち着いた曲に変身させたかったから，メロディーをなめらかにしてみたよ</li> </ul>	<p>しては，タブレット端末のデジタル音源をもとにいくつか例を示すなどして，工夫のポイントを考えられるよう支援する。</p> <p>◆ 音楽を形づくっている要素を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，どのような合奏にするかについて思いや意図をもっている。（観察，拡大ボードの記述）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「変身」の視点から，音楽を形づくっている要素と曲想とのかかわりが顕著に表れているグループ1つを選んで発表させる。</li> <li>• 練習の中で録画した映像を用いて発表することで，一番よく表現できた演奏を選択して取り上げることができるようにする。</li> <li>• ワークシートに振り返りを記入し，「変身」の過程などが分かるようにし，次時への課題意識をつないでいく。</li> </ul>
--	---